

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

### 《週報》

第5巻第27号

第27週(7月4日～7月10日)

発行年月日:平成17年(2005年)7月15日

発行:滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

### 1) 全数報告の感染症(1類～5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (27週)	累積報告数		平成16年報告数	
			滋賀 (27週)	全国 (27週)	滋賀	全国 <sup>(*1)</sup>
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	<sup>(*2)</sup> 5	282	9	576
	腸チフス	0	0	23	2	66
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	1,021	21	3,640
4類感染症	E型肝炎	0	0	<sup>(*3)</sup> 27	1	34
	A型肝炎	1	1	105	0	136
	オウム病	0	1	25	1	39
	デング熱	0	1	16	2	45
5類感染症	マラリア	0	0	32	2	73
	アメーバ赤痢	0	1	359	8	580
	ウイルス性肝炎	0	0	156	5	299
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	31	1	53
	後天性免疫不全症候群	0	3	587	6	1,119
	ジアルジア症	0	0	37	2	85
	梅毒	0	0	260	4	516
	破傷風	0	0	46	2	100
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	2	37	0	49
急性脳炎	0	1	<sup>(*3)</sup> 116	1	164	

\*1:平成16年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。  
 \*2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。  
 \*3:平成17年第25週現在の報告数です(iDWR掲載の報告数を参考にしています)。

### 2) 定点把握の対象となる5類感染症

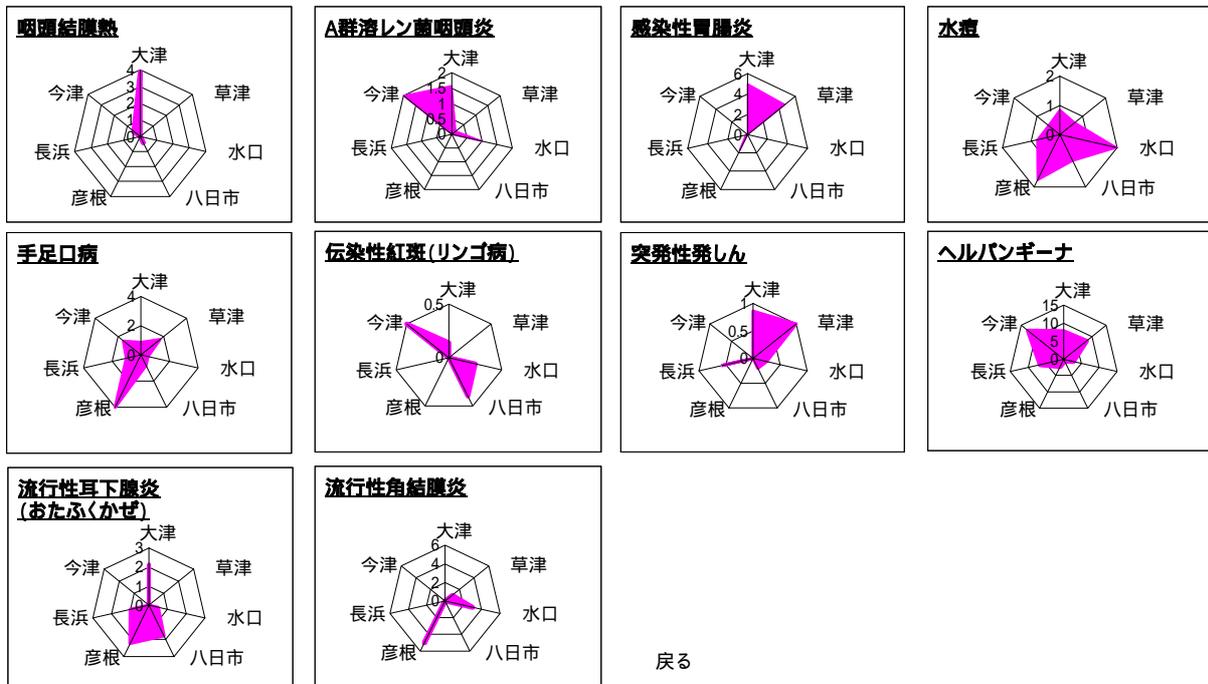
#### (1) 疾病別・週別発生状況(第22～27週、5/30～7/10)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加)					前週と同じ		前週より減少)				
	22週	23週	24週	25週	26週	27週	週					
	(5/30～)	(6/6～)	(6/13～)	(6/20～)	(6/27～)	(7/4～)	23	24	25	26	27	
インフルエンザ	0.59	0.47	0.24	0	0	0						
RSウイルス感染症	0.09	0.09	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	0.67	0.48	0.61	0.73	0.70	0.91						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.52	0.61	0.70	0.67	0.27	0.61						
感染性胃腸炎	4.15	3.42	2.42	2.88	1.88	2.15						
水痘	2.24	3.45	2.85	2.36	1.55	1.06						
手足口病	0.21	0.21	0.42	0.42	0.85	1.39						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.09	0.15	0.06	0.12	0.15						
突発性発しん	0.70	0.58	0.61	0.79	0.39	0.52						
百日咳	0	0.03	0	0	0	0						
風しん(三日はしか)	0	0.06	0	0.06	0	0						
ヘルパンギーナ	0.27	0.70	1.30	1.94	3.03	5.55						
麻しん(成人麻しんを除く)	0.03	0	0.03	0.03	0.12	0						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.94	1.06	1.33	1.42	1.30	1.21						
急性出血性結膜炎	0	0	0.14	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.57	0.29	0.29	0.71	0.29	1.29						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.14	0						
無菌性髄膜炎	0	0.43	0	0.14	0.14	0						
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第27週、7/4～7/10)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	0.91	3.86	0	0	0.40	0	0	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.61	1.57	0.17	1.00	0	0	0	2.00
感染性胃腸炎	2.15	5.00	4.67	0	0	1.75	0.20	0
水痘	1.06	0.86	0.67	2.00	1.00	1.75	0.80	0.50
手足口病	1.39	0.86	1.67	0.50	0.80	4.00	1.00	1.50
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.15	0.14	0	0.25	0.40	0	0	0.50
突発性発しん	0.52	0.86	1.00	0.25	0.20	0	0.60	0
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	5.55	7.71	8.00	2.75	0.60	2.25	6.60	12.50
麻疹(成人麻疹を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.21	2.14	0	0.50	1.80	2.25	1.00	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1.29	0	1.00	3.00	0	5.00	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



戻る

今週の発生状況:

保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。咽頭結膜熱は先週と同様に大津で増えており、A群溶菌菌咽頭炎は大津および今津で増えています。流行性耳下腺炎は減少傾向となっておりますが大津、八日市および彦根でやや増えています。また、先週、報告の多かった麻疹については今週は報告がありません。無菌性髄膜炎についても今週は報告がありません。

- 全数報告感染症 -

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。これを全数報告の感染症といえます。

\* 感染症法: 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- 定点当たり患者数 -

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

\* 疾患により定点数は異なります。

### 3) 今週のトピックス

#### 手足口病、ヘルパンギーナの発生は今週も急増 滋賀県における全数報告感染症の概要(平成17年第20~27週)

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(6月27日~7月3日)の報告数よりかなり多くなっており、今週、増加を示した疾患は咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナ、流行性角結膜炎等です。また、減少した疾患は水痘、麻疹、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

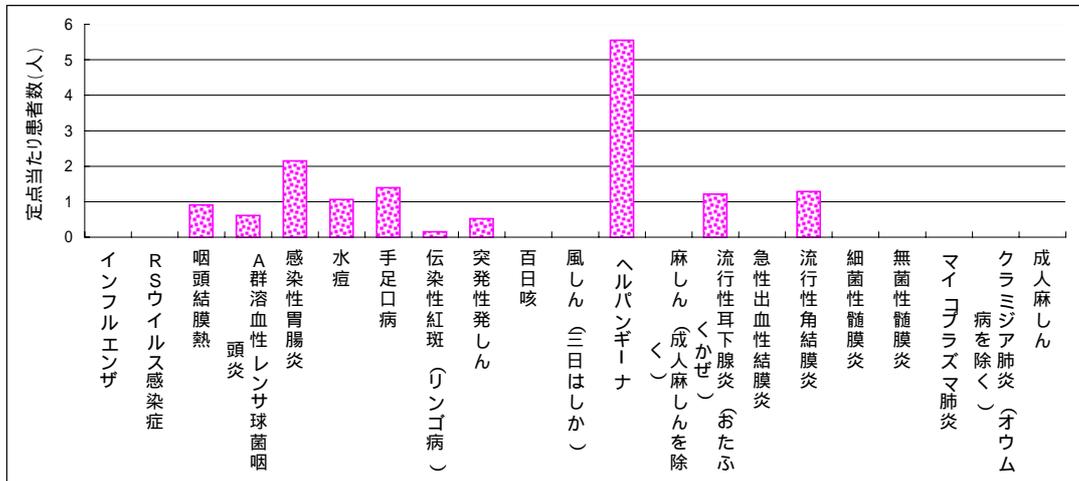
**手足口病**については、先週の定点当たり患者数0.85よりさらに増加し1.39となっており、大津および彦根保健所管内で多くなっています。特に、草津保健所管内においては、先週の定点当たり患者数0.67より急増し1.67となっています。

**ヘルパンギーナ**については、先週の定点当たり患者数3.03よりさらに急増し5.55となっています。特に、大津、草津、長浜および今津保健所管内において急増しています。

**流行性角結膜炎**については、水口および彦根保健所管内で増加し定点当たり患者数はそれぞれ3.00、5.00と多くなっています。

また、年齢別の発生割合は4歳が11.1%、20~29歳が22.2%、30~39歳が44.4%および70歳以上が22.2%となっています。

#### 第27週における定点把握の対象となる5類感染症の発生状況



第27週(7/4~7/10)における上位5疾患はヘルパンギーナ、感染性胃腸炎、手足口病、流行性角結膜炎および流行性耳下腺炎です。また、疾患別・保健所管内別定点当たり患者数についてみるとヘルパンギーナは今津が12.50、感染性胃腸炎は大津が5.00、手足口病は彦根が4.00、流行性角結膜炎は彦根が5.00、流行性耳下腺炎は彦根が2.25と多くなっています。

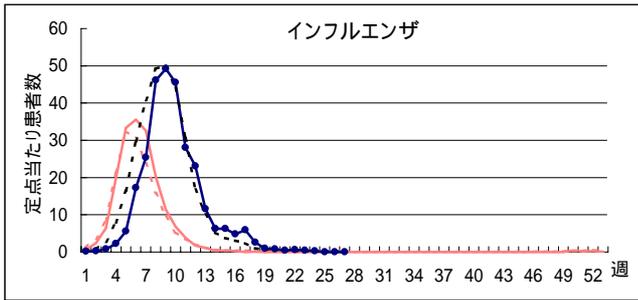
#### 滋賀県における全数報告感染症の概要(平成17年第20~27週、H17.5.16~H17.7.10)

感染症類型	疾患名	1~19週の累積報告数	20~27週の報告年月日	概要		
				菌種、血清型等	推定感染地域	推定感染源(原因)・感染経路等
一類感染症	報告なし	0				
二類感染症	細菌性赤痢	4(*1)	H17.7.2(*2)	菌種:ソネ	フィリピン	不明
三類感染症	報告なし	0				
四類感染症	A型肝炎		H17.7.6		日本国内	不明
	オウム病	1	報告なし			
	デング熱	1	報告なし			
五類感染症	アメーバ赤痢	1	報告なし			
	後天性免疫不全症候群	1	H17.6.14	AIDS	日本国内	同性間性的接触
			H17.6.24	無症候性キャリア	日本国内	同性間性的接触
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2	報告なし			
急性脳炎	1	報告なし				

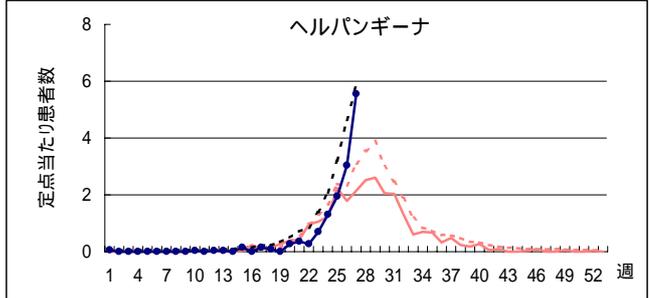
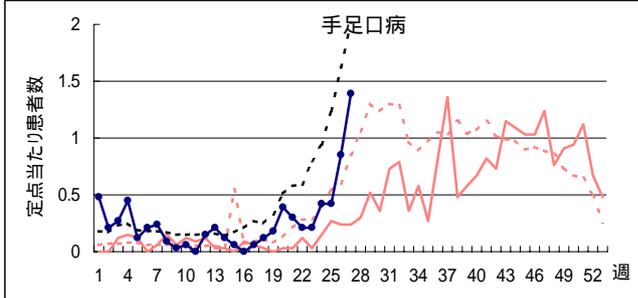
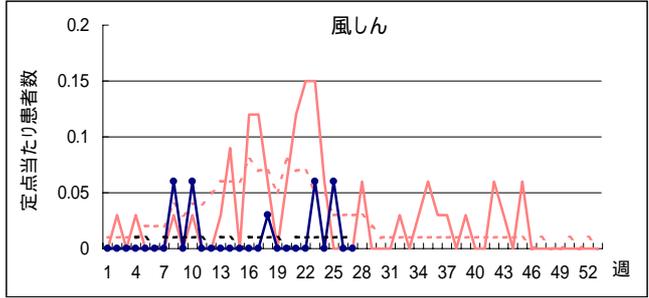
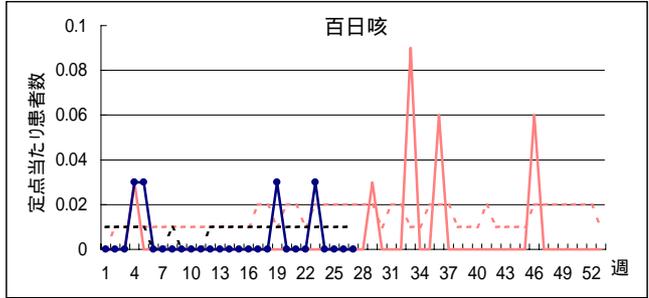
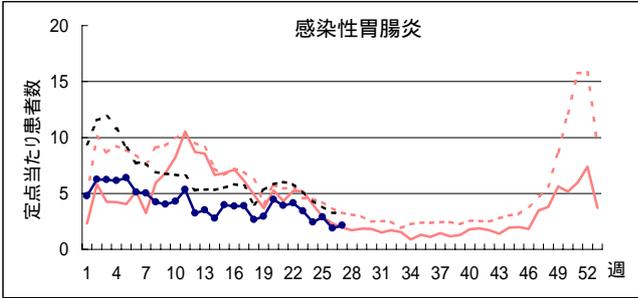
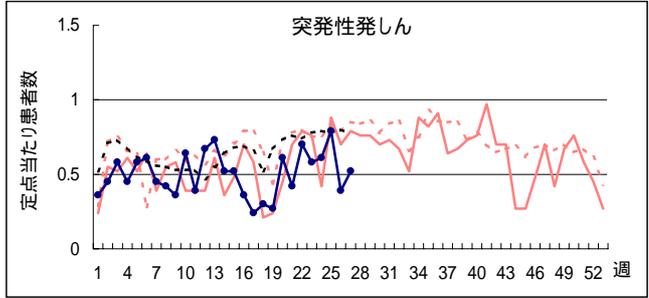
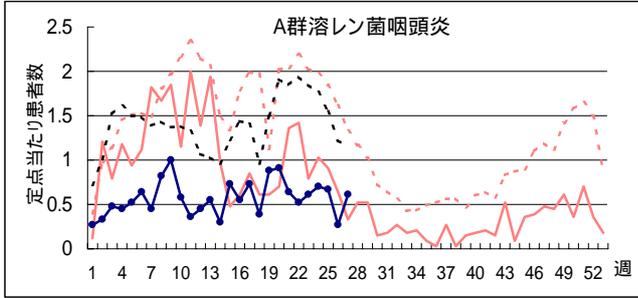
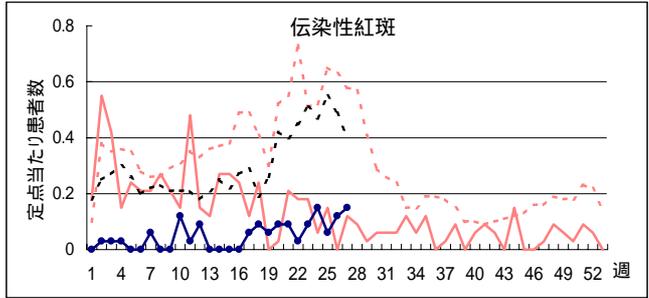
(\*1) 検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知1件を含む (\*2) 検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知による

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>)において公表されています。

疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第27週、H17.1.3～H17.7.10)



H16 { 滋賀 ————  
       全国 ······  
 H17 { 滋賀 —●—●—●—  
       全国 ······



疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第27週、H17.1.3～H17.7.10)

H16 { 滋賀 ———— 全国 ..... }  
 H17 { 滋賀 ●——● 全国 ..... }

